

バクスマー[®]点鼻粉末剤を使用される患者さんとご家族へ

低血糖時の 救急処置のために

バクスマー[®]点鼻粉末剤使用の手びき



本剤を使用する直前まで包装用フィルムをはがさないでください

目次

低血糖ってなに？どんな症状があらわれるの？	2
低血糖はどんな時に起こりやすいの？	3
バクスミー®点鼻粉末剤ってどんなお薬？	4
バクスミー®点鼻粉末剤はどんな時に使うの？	5
バクスミー®点鼻粉末剤ご使用前の注意	6
バクスミー®点鼻粉末剤の使い方	8
バクスミー®点鼻粉末剤噴霧後の対応と副作用	11
ご家族・医師と共有しましょう	13
医師と共有しましょう	14
情報提供シート (バクスミー®点鼻粉末剤が使用方法どおりに使えなかった場合)	

低血糖ってなに？どんな症状があらわれるの？

低血糖とは、**血糖値が正常な範囲より低くなること**（一般的には70mg/dL未満¹⁾)をいいます。特に54mg/dL以下の時は、糖尿病の患者さんでは**すぐに対処しないといけない緊急の状態**です。

低血糖の症状^{1,2)}

低血糖を起こすと以下のような症状^{*1}があらわれるので、ブドウ糖や糖を含むジュースなどをただちにとってください。

α -グルコシダーゼ阻害薬^{*2}を服用している場合は、砂糖からブドウ糖への分解を遅らせる作用があるため、必ずブドウ糖をとってください。

※1:あらわれる症状には個人差があります ※2:アカルボース、ボグリボース(配合剤を含む)、ミグリトール



動悸



生あくび



ふるえ

- 空腹感
- 気分不良
- めまい
- 冷汗
- 眠気

低血糖を起こしてもこれらの症状があらわれないこともあります(無自覚性低血糖といいます)。

低血糖に気づかず、そのまま進行すると、以下のような重い症状が急にあらわれる場合があります。この状態になると、患者さんは自分で対処できないため、ご家族や周りの人の手助けが必要となります(重症低血糖といいます)。



意識が遠くなる



けいれん



こんすい
昏睡[※]

※意識を失い、刺激に対して反応しない状態

**この他に、異常行動がみられることがあり、
高齢者では認知症と間違えられることがあります。**

低血糖はどんな時に起こりやすいの？

低血糖は起こさないにこしたことはありません。しかし、さまざまなことがきっかけとなり、低血糖を起こしてしまう可能性があります。たとえば、以下のようなきっかけで起こりやすくなるため、特に注意が必要です²⁾。

低血糖が起こるきっかけ²⁾



お薬の種類や量の誤り



食事の量
(または炭水化物の量)
が少ない、
食事の時間の遅れ



激しい運動や
長時間の運動



飲酒



入浴

ワンポイント・アドバイス

重症の低血糖を起こすと命に関わるようなことになったり、重い後遺症が残ったりする可能性があります。

予防や早めの対処ができるように、低血糖が起こりやすくなる状況や症状について、ご家族や周りの人と話し合しましょう。

1) 日本糖尿病学会 編・著. 糖尿病診療ガイドライン2024, 南江堂, 2024

2) 日本糖尿病学会 編・著. 糖尿病治療ガイド2024, 文光堂, 2024

バクスキー®点鼻粉末剤ってどんなお薬？

バクスキー®点鼻粉末剤(以下、バクスキー)は低血糖を起こした患者さんの救急処置に用いるお薬で、グルカゴン(血糖値を一時的に上げるホルモン)を3mg含みます。

このお薬は鼻の粘膜から吸収されるため、患者さんに意識がなく、薬剤を吸い込むことができない時でも使用できます。

1回使い切りのお薬で、**室温(30℃以下)**で**保存**することができます。



黄色の容器の長さ：約79mm、横(直径)：約31mm
本剤を使用する直前まで包装用フィルムをはがさないでください

携帯可能

3ステップで
投与可能

1回
使い切り

室温保存
冷蔵庫で保存
する必要は
ありません

バクスマー®点鼻粉末剤はどんな時に使うの？

低血糖の対処法は、患者さんの状態によって異なります。

バクスマーは、さまざまな低血糖症状のうち、**周りの人の助けが必要な低血糖状態になった時に使用してください。**

低血糖が起こった

※あらわれる低血糖症状には個人差があります。
代表的な症状については本冊子のP2をご参照ください。

- 意識ははっきりしている？
- 口から糖分をとれる？
- 患者さん自身で対処できる？

はい

患者さん自身が
口から糖分をとる



いいえ

看護者(家族など)が患者さん
に**バクスマー**を投与する



ワンポイント・アドバイス

バクスマーを看護者(家族など)が患者さんに使用することで、周りの人の助けが必要な低血糖にも対処することが可能になります。

バクスマー®点鼻粉末剤ご使用前の注意

必ず守って
ください

このお薬は使用する直前まで
包装用フィルムをはがしたり、
黄色の容器を開けたりしないでください。



← × はがさない

← × 開けない



バクスマーを使用する前にご注意いただきたいこと

- 使用する前に黄色の容器を開けると、薬剤が湿気にさらされて、正しく噴霧できなくなる可能性があります。
- 1回使い切りのお薬のため、繰り返し使用することはできません。
- 鼻の穴の中だけで使用してください。

バクスマー®点鼻粉末剤ご使用前の注意

使用期限のご確認

処方されたら必ず**使用期限を確認してください**。
また、使用期限が切れる前に医師に相談してください。



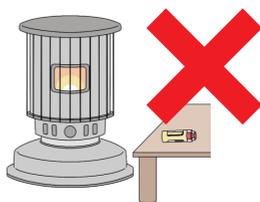
※本剤は、海外で製造された後に日本市場に供給されるため、お手元に届くタイミングにより使用期限が異なります。

保存方法

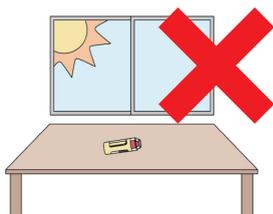
30℃以下の室温で保存してください。
また、子供の手の届かないところで保管してください。
注) 以下のような場所で保管しないようご注意ください。



自動車の中



熱源の近く



直射日光の当たるところ



子供の手の届くところ

バクスマー®点鼻粉末剤の使い方

① 点鼻容器の取り出し方



赤色の部分を引っ張り、包装用フィルムをはがしてください。



黄色の容器のふたを開け、点鼻容器を取り出します。

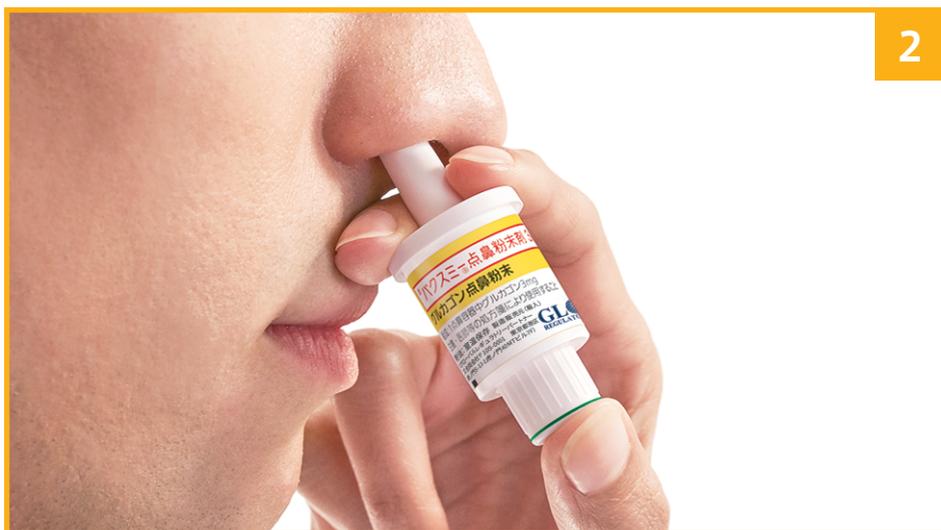
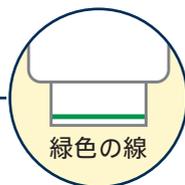
注) 噴霧する準備ができるまで注入ボタンを押さないでください。

バクスマー®点鼻粉末剤の使い方

②噴霧方法



図のように親指と人差し指、中指で点鼻容器を持ってください。
試し打ちはしないでください。



人差し指又は中指が鼻に当たるまで、
点鼻容器の先端を片方の鼻の穴にゆっくり差し込んでください。

噴霧完了の 確認

緑色の線が見えている状態では噴霧できていません。緑色の線が見えている場合には、再度②からやり直し、噴霧後に緑色の線が見えなくなったことを確認してください。

注入ボタン操作時のポイント

注入ボタンを押す際に抵抗を感じることがありますが、最後まで**一気に**押し込んでください。



3



注入ボタンを最後まで押し切ってください。
緑色の線が見えなくなるまで押し込むと、噴霧が完了します。

○ 正しく噴霧できている



× 正しく噴霧できていない



バクスマー[®]点鼻粉末剤噴霧後の対応と副作用

噴霧後の対応

噴霧完了

すぐに医療機関に
連絡し、医師の指示を
仰いでください



医療機関を
受診してください



意識が戻らない場合

患者さんの体と顔を横に向けて
ください



医療機関を受診するまでの間は
患者さんの状態を観察して
ください

バクスマーを使用しても 症状の改善が認められない場合

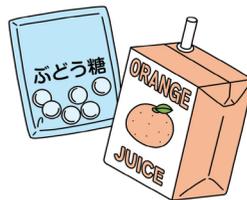
- バクスマーを追加投与しても効果は期待できません。
- バクスマーの追加投与は行わず、医療機関で処置を受けてください。

バクスマーを使用したあとは、
必要時の備えについて、医師に相談してください。

意識が戻った場合の対応

上半身を起こして糖分をとらせてください

注) 患者さんがうまく飲み込めない状態で、無理に糖分をとらせようとすると、喉に詰まらせて窒息するおそれがありますので注意してください。



副作用について

バクスミーを使用すると、以下のような副作用があらわれることがあります。



頭痛



吐き気・嘔吐



鼻の痛み



アレルギー反応※

**このような症状があらわれた場合は必ず主治医にお知らせください。
また、上記以外でも気になる症状があらわれた場合には、
医師または薬剤師にご相談ください。**

※発疹、息が苦しくなる、血圧が下がる(めまい、体がだるい、手足の冷え、吐き気をもよおす、頭痛)など

ご家族・医師と共有しましょう

ご家族でできる重症低血糖への備え

- 低血糖や重症低血糖について、ご家族と話し合い、理解してもらいましょう。
- 低血糖や重症低血糖への対処法(備え)について、ご家族と一緒に学びましょう。
- もしもの時にすぐ使えるよう**バクスマーの保管場所や保管方法、使い方**をご家族に伝えておきましょう。



患者さんと患者さんのご家族で話し合いましょう

患者さんは以下の下線部分を記入し、本冊子をご家族の方へお渡しください。

低血糖について

- 過去にどのような時に低血糖になりましたか？

時間帯： _____ 場所： _____

原因： _____

対処方法： _____

症状：汗をかく・指がふるえる・顔色が悪くなる・眠気・その他(_____)・症状がない

バクスマーについて

- バクスマーをどこに保管しますか？(保存時の注意点はP7参照)

保管場所： _____ 

- バクスマーの使用期限はいつですか？(期限の確認方法はP7参照)

_____ 年 _____ 月  (使用期限が切れる前に医師に相談してください。)

主治医への連絡

- バクスマー使用後は、すみやかに医療機関に連絡し、主治医に伝えましょう。

主治医名： _____

医療機関名： _____

医療機関連絡先： _____

医師と共有しましょう

治療を続けることの重要性

低血糖を気にするあまり、食事・運動療法やお薬による治療をやめたり、医師に相談せずお薬の量を変えたりすると血糖値が不安定になってしまいます。主治医の指導を守り、きちんと治療を続けた上で、気になることがあれば主治医に伝え、話し合うようにしましょう。

ご自身の状況を医師に伝えるのは適切な治療を受けるために重要です。バクスマーを噴霧した場合、以下の内容を記録しておき、主治医の先生と共有しましょう。

- 低血糖がいつ、どこで、何をしている時に起きたのか

[]

- 低血糖症状、低血糖発現からバクスマー噴霧までの時間

[]

- 低血糖に対してとった処置・対処後の状況

(例：妻がバクスマーを噴霧し救急車を呼んだ、バクスマー噴霧後XX分で意識が戻り、ブドウ糖をとったなど)

[]

- 主治医に確認したいこと、伝えたいこと

[]

バクスマーを噴霧した時にかぎらず、低血糖を起こした際はその都度、受診時に医師に報告・相談をしてください。

病院名または医院名

グローバルレギュラトリーパートナーズ合同会社

医薬情報問合せ窓口

0120-126-003*1

03-4530-9843*2

受付時間（どちらの電話番号ともに）
月曜日～金曜日 9:00～18:00*3

*1 通話料は無料です。携帯電話からでもご利用いただけます。

*2 IP電話からはフリーダイヤルをご利用できない場合があります。

その際にはこちらの電話番号にお掛けください。

尚、通話料はお客様負担となります。

*3 祝祭日および当社休日を除きます。

患者さんにご家族へ 情報提供のお願い

バクスマーを使用方法※通りに使えなかった場合、

以下の項目をご記入の上、処方医にお渡してください。 ※本冊子P6-12をご確認ください。

患者さん年齢・性別	歳 ・ <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
バクスマー製造番号	

1. 本剤の使用日をご記入ください。 年 月 日

2. 低血糖が起こった時の状況(血糖値や症状含む)をご記入ください。

()

3. バクスマーを投与した方は誰ですか？

患者さんのご家族 医師 看護師 患者さんご本人

その他 → 投与された方をご記入ください ()

4. バクスマーを投与した方は、事前に投与方法について説明を受けていましたか？

はい いいえ

5. 本剤を覆っている包装用フィルムは、どの時点で取り除きましたか？

本剤を投与する直前

使用するよりもっと前に取り除いていた → すでに取り除いていた場合、その理由をご記入ください。

()

6. バクスマーの黄色の容器をどの時点で開けましたか？

本剤を投与する直前

使用するより前に開けていた → 開けてしまった理由と、どれくらいの時間、黄色の容器を開けた状態であったかをご記入ください。

()

7. バクスミーを鼻に投与できましたか？

はい

いいえ → 鼻に投与できなかった理由をご記入ください。

(例：誤って口に投与した。)

()

8. 注入ボタンを最後まで押し切った後、緑色の線が見えなくなっていましたか？

はい、緑色の線は見えない状態だった いいえ、緑色の線は見える状態だった

確認していない 覚えていない、分からない

9. バクスミー投与後の状況(血糖値や症状)をご記入ください。

[]

10. バクスミー投与時または投与後に入院を要する状態になりましたか？

はい、入院を要する状態だった

→ 入院された場合、入院後の追加の治療内容をご記入ください。

()

いいえ、入院処置は必要なかった

11. その他ご意見がありましたらご記入をお願いいたします。

[]

主治医の方へ

バクスミーでは、正しく使用できず効果が得られなかった事例を積極的に収集しております。

大変お手数ではございますが、当該調査用紙を患者さんから受け取りましたら、弊社医薬情報担当者(MR)にお渡してください。適正使用推進のため、ご協力のほどよろしく願いいたします。